

# 入 札 説 明 書

平成23年度国立水俣病総合研究センター

ダイオキシン類等測定業務

国立水俣病総合研究センター

## はじめに

平成23年度国立水俣病総合研究センターダイオキシン類等測定業務に係る入札等については、会計法（昭和22年法律第35号）、予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）、契約事務取扱規則（昭和37年大蔵省令第52号）、その他の関係法令に定めるもののほか、この入札説明書によるものとする。

### 1 契約担当官等

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 佐藤 克子

### 2 調達内容

(1) 件名 平成23年度国立水俣病総合研究センターダイオキシン類等測定業務

(2) 特質等 別添仕様書による他、入札説明会にて詳細を説明する。

(3) 業務期間 契約締結日から平成23年12月28日

(4) 納入場所 熊本県水俣市浜4058-18

国立水俣病総合研究センター

(5) 入札方法

落札者の決定は、最低価格落札方式をもって行うので、

イ 入札者は、業務に係る経費のほか、一切の諸経費を含め契約金額を見積もるものとする。

ロ 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の5パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数がある時は、その端数金額を切り捨てた金額とする。）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の105分の100に相当する金額を記載した入札書を提出しなければならない。

(6) 入札保証金及び契約保証金 免除

### 3 競争参加資格

(1) 予算決算及び会計令第70条の規定に該当しない者であること。なお、未成年者、被保佐人又は被補助人であつて、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2) 予算決算及び会計令第71条の規定に該当しない者であること。

(3) 工事請負契約等に係る指名停止等措置要領について（平成13年環境会第9号）に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。

(4) 平成22・23・24年度環境省競争参加資格（全省庁統一資格）「役務の提供等」の中で営業品目「調査・研究」、「建物管理等各種保守管理」又は「その他」

において、開札時まで「B」、「C」又は「D」級に格付けされ、九州・沖縄地域の競争参加資格を有する者であること。

(5) 入札説明書の交付を受け、入札説明会に参加した者であること。

(6) 「平成23年度に環境省が実施するダイオキシン類の請負調査の受注資格審査」において、ダイオキシン類の環境測定を伴う請負調査の受注資格があると認められた機関（測定対象項目：排出ガス、排出水、焼却灰その他の燃え殻及びばいじん、作業環境の4項目が認められている機関）であること。

#### 4 契約条項を示す場所等

##### (1) 契約条項を示す場所

〒867-0008 熊本県水俣市浜4058-18

国立水俣病総合研究センター総務課経理係 太田 一弘

電話 0966-63-3111 F A X 0966-61-1145

##### (2) 入札説明会の日時及び場所

日時 平成23年9月16日（金）14時00分から

場所 国立水俣病総合研究センター内会議室

熊本県水俣市浜4058-18

#### 5 競争執行の日時、場所等

##### (1) 入札・開札の日時及び場所

日時 平成23年10月3日（月）14時00分

場所 国立水俣病総合研究センター内会議室

熊本県水俣市浜4058-18

##### (2) 入札書の提出方法

ア. 入札書は、(1)の日時まで電子入札システムにより提出するものとする。ただし、書面により入札書を提出することを希望する場合は、平成22年9月28日（水）12時までに、環境省入札心得に定める様式2による書面を提出すること。

イ. 書面により入札書を提出する場合は、(1)の日時及び場所に、環境省入札心得に定める様式1による入札書を持参すること。電話、F A X、郵送等による提出は認めない。なお、入札書の日付は、入札日を記入すること。

ウ. 入札者は、その提出した入札書の引換、変更又は取消しをすることができない。

##### (3) 入札の無効

本入札説明書に示した競争参加資格のない者又は入札条件に違反した者の提出した入札書は無効とする。

## 6 落札者の決定方法

- (1) 有効な入札書を提出した入札者であって、当該入札者の入札価格が予算決算及び会計令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内であり、かつ、最低価格をもって入札を行った者を落札者とする。
- (2) 最低価格により落札者となった場合でも、落札者となるべき者の入札価格によっては、当該契約の内容に適合した履行がされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって申込みをした他の者のうち、最低の価格をもって申込みをした者を落札者とするところがある。

## 7 入札に関する質問の受付

- (1) この入札説明書、仕様書等に関する質問がある場合は、次に従い書面（様式は任意）により提出すること。
  - イ 提出期限 平成23年9月20日（火）12時まで  
（持参の場合は12時から13時を除く）
  - ロ 提出場所 4（1）の場所
  - ハ 提出方法 持参又はFAXによって提出すること。
- (2) (1)の質問に対する回答は、平成23年9月27日（火）17時までにFAXにより行う。

## 8 競争参加資格確認関係書類

- (1) 競争参加資格確認関係書類は、別添1に掲げるとおりとする。
- (2) 競争参加資格確認関係書類の作成に要する費用は、提出者の負担とする。
- (3) 支出負担行為担当官は、提出された競争参加資格確認関係書類を競争参加資格の確認以外に提出者に無断で使用することはない。
- (4) 受領した書類等は返却しない。
- (5) 入札者は、提出した競争参加資格確認関係書類の引換え、一部もしくは全部差し替え及び再提出、変更又は取消しをすることができない。
- (6) 競争参加資格確認関係書類の受領期限は、平成23年9月28日（水）12時とする。
- (7) 開札日の前日までの間において、支出負担行為担当官から競争参加資格確認等に関し説明を求められた場合には、これに応じなければならない。
- (8) 入札参加資格審査結果の回答  
平成22年9月29日（木）17時まで  
なお、審査結果通知書の発出にあたっては、原本の郵送に先行して指定された宛先にFAXによる事前送信を行う。

9 入札結果の公表

(1) 落札者が決定したときは、入札結果は、落札者を含め入札者全員の商号又は名称及び入札価格について、開札場において発表する。

(2) 電子入札システムの操作及び障害発生時の問い合わせ先

環境省電子入札システムホームページアドレス <http://www.e-procurement.env.go.jp/>  
ヘルプデスク 03-5348-4006

ただし、入札の締め切り時間が切迫している等、緊急を要する場合には、前記4(1)の場所に連絡すること。

○様式等

別紙 環境省入札心得

別添1 競争参加資格確認関係書類

別添2 契約書(案)

別添3 仕様書

(別紙)

## 環境省入札心得

### 1. 趣旨

環境省の所掌する契約（工事に係るものを除く。）に係る一般競争又は指名競争（以下「競争」という。）を行う場合において、入札者が知り、かつ遵守しなければならない事項は、法令に定めるものの他、この心得に定めるものとする。

### 2. 入札説明書等

- (1) 入札者は、入札説明書及びこれに添付される仕様書、契約書案、その他の関係資料を熟読のうえ入札しなければならない。
- (2) 入札者は、前項の書類について疑義があるときは、関係職員に説明を求めることができる。
- (3) 入札者は、入札後、(1)の書類についての不明を理由として異議を申し立てることができない。

### 3. 入札保証金及び契約保証金

環境省競争参加資格（全省庁統一資格）を保有する者の入札保証金及び契約保証金は、全額免除する。

### 4. 入札書の書式等

入札者は、様式1による入札書を提出しなければならない。ただし、電子入札システムにより入札書を提出する場合は、同システムに定めるところによるものとする。

なお、入札説明書において「電子入札システムにより入札書を提出すること」と指定されている入札において、様式1による入札書の提出を希望する場合は、様式2による書面を作成し、入札説明書で指定された日時までに提出しなければならない。

### 5. 入札金額の記載

落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の5パーセントに相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額とする。）をもって落札価格とするので、入札者は消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約金額の105分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

### 6. 入札書の提出

- (1) 書面による入札書は、封筒に入れ封印し、かつその封皮に氏名（法人の場合はその名称又は商号）、宛名（支出負担行為担当官 国立水俣病総合研究センター 総務課長 殿と記載）及び「平成23年10月3日開札〔平成23年度国立水俣病総合研究センターダイオキシン類等測定業務〕の入札書在中」と朱書きして、

入札日時までに提出すること。また、競争参加資格を証明する書類を入札説明書で指定する日時までに提出すること。

- (2) 電子入札システムにより入札する場合は、同システムに定める手続に従い、入札日時までに入札書を提出すること。通信状況により提出期限内に電子入札システムに入札書が到着しない場合があるので、時間的余裕を持って行うこと。また、競争参加資格を証明する書類をスキャナ等により電子データ化したものを、電子入札システムの手順に応じて、入札説明書で指定する日時までに提出すること。

#### 7. 代理人による入札及び開札の立会い

代理人により入札を行い又は開札に立ち会う場合は、代理人は、様式3による委任状を持参しなければならない。また、代理人が電子入札システムにより入札する場合には、同システムに定める委任の手続きを終了しておかなければならない。

#### 8. 代理人の制限

入札者又はその代理人は、当該入札に係る他の入札者の代理人を兼ねることができない。

#### 9. 入札の無効

次の各項目の一に該当する入札は、無効とする。

- ① 競争に参加する資格を有しない者による入札
- ② 指名競争入札において、指名通知を受けていない者による入札
- ③ 委任状を持参しない又は電子入札システムに定める委任の手続きを終了していない代理人による入札
- ④ 書面による入札において記名押印（外国人又は外国法人にあつては、本人又は代表者の署名をもって代えることができる。）を欠く入札
- ⑤ 金額を訂正した入札
- ⑥ 誤字、脱字等により意思表示が不明瞭である入札
- ⑦ 明らかに連合によると認められる入札
- ⑧ 同一事項の入札について他人の代理人を兼ね又は2者以上の代理をした者の入札
- ⑨ 入札者に求められる義務を満たすことを証明する必要がある入札にあつては、証明書が契約担当官等の審査の結果採用されなかった入札
- ⑩ 入札書の提出期限までに到着しない入札
- ⑪ その他入札に関する条件に違反した入札

#### 10. 入札の延期等

入札参加者が相連合し又は不穩の行動をする等の場合であつて、入札を公正に執行することができない状態にあると認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し若しくはとりやめることがある。

## 11. 開札の方法

- (1) 開札は、入札者又は代理人を立ち合わせて行うものとする。ただし、入札者又は代理人の立会がない場合は、入札執行事務に関係のない職員を立ち合わせて行うことができる。
- (2) 電子入札システムにより入札書を提出した場合には、入札者又は代理人は、開札時刻に端末の前で待機しなければならない。
- (3) 入札者又は代理人は、開札場に入場しようとするときは、入札関係職員の求めに応じ競争参加資格を証明する書類、身分証明書又は委任状を提示しなければならない。
- (4) 入札者又は代理人は、開札時刻後においては開札場に入場することはできない。
- (5) 入札者又は代理人は、契約担当官等が特にやむを得ない事情があると認めた場合のほか、開札場を退場することができない。
- (6) 開札をした場合において、予定価格の制限内の価格の入札がないときは、直ちに再度の入札を行うものとする。電子入札システムにおいては、再入札を行う時刻までに再度の入札を行うものとする。なお、開札の際に、入札者又は代理人が立ち会わず又は電子入札システムの端末の前で待機しなかった場合は、再度入札を辞退したものとみなす。

## 12. 落札者となるべき者が2者以上ある場合の落札者の決定方法

当該入札の落札者の決定方法によって落札者となるべき者が2者以上あるときは、直ちに当該者にくじを引かせ、落札者を決定するものとする。なお、入札者又は代理人が直接くじを引くことができないときは、入札執行事務に関係のない職員がこれに代わってくじを引き、落札者を決定するものとする。

## 13. 落札決定の取消し

落札決定後であっても、入札に関して連合その他の事由により正当な入札でないことが判明したときは、落札決定を取消すことができる。

## 14. 契約書の提出等

- (1) 落札者は、契約担当官等から交付された契約書に記名押印（外国人又は外国法人が落札者である場合には、本人又は代表者が署名することをもって代えることができる。）し、落札決定の日から10日以内（期終了の日が行政機関の休日に関する法律（昭和63年法律第91号）第1条に規定する日に当たるときはこれを算入しない。）に契約担当官等に提出しなければならない。ただし、契約担当官等が必要と認めた場合は、この期間を延長することができる。
- (2) 落札者が前項に規定する期間内に契約書を提出しないときは、落札は、その効力を失う。

## 15. 契約手続において使用する言語及び通貨

契約手続において使用する言語は日本語とし、通貨は日本国通貨に限る。



# 入 札 書

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

住 所  
会 社 名  
代表者氏名

印

(復) 代理人

印

注) 代理人又は復代理人が入札書を持参して入札  
する場合に、(復) 代理人の記名押印が必要。  
このとき、代表印は不要 (委任状には必要)。

下記のとおり入札します。

## 記

- 1 入札件名 : 平成 2 3 年度国立水俣病総合研究センターダイオキシン類等測定業務
- 2 入札金額 : 金額 円
- 3 契約条件 : 契約書及び仕様書その他一切貴省の指示のとおりとする。

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

住 所  
会 社 名  
代表者氏名

印

電子入札案件の紙入札方式での参加について

下記入札案件について、電子入札システムを利用して入札に参加できないので、紙入札方式での参加をいたします。

記

1. 入札件名：平成23年度国立水俣病総合研究センターダイオキシン類等測定業務
2. 電子入札システムでの参加ができない理由  
(記入例)・電子入札システムで参加する手続が完了していないため

委 任 状

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

住 所  
(委任者) 会 社 名  
代表者氏名

印

代理人住所  
(受任者) 所属(役職名)  
氏 名

印

当社

を代理人と定め下記権限を委任します。

記

(委任事項)

- 1 平成23年度国立水俣病総合研究センターダイオキシン類等測定業務の入札に関する一切の件
- 2 1の事項にかかる復代理人を選任すること。

委 任 状

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

代理人住所  
(委任者) 所属(役職名)  
氏 名 印

復代理人住所  
(受任者) 所属(役職名)  
氏 名 印

当社 を復代理人と定め下記権限を委任します。

記

(委任事項)

平成23年度国立水俣病総合研究センターダイオキシン類等測定業務  
の入札に関する一切の件

別添1

平成 年 月 日

支出負担行為担当官

国立水俣病総合研究センター総務課長 殿

所在地

商号又は名称

代表者氏名

印

平成23年度国立水俣病総合研究センターダイオキシン類等測定業務に関する  
競争参加資格確認書類の提出について

標記の件につきまして、次のとおり提出します。

- ① 環境省大臣官房会計課長から通知された等級決定通知書(全省庁統一資格)の写
- ② 「3. 競争参加資格」(6)に規定する条件を満たすことを証する資料

(担当者)

所属部署 :

氏 名 :

TEL/FAX :

E-mail :

## 契 約 書 (案)

支出負担行為担当官 国立水俣病総合研究センター総務課長 佐藤 克子 (以下「甲」という。)は、  
(以下「乙」という。)と「平成23年度国立水俣病総合研究センターダイオキシン類等測定業務」(以下「業務」という。)について、次の条項により契約を締結する。

### (契約の目的)

第1条 乙は、別添の仕様書に基づき業務を行うものとする。

### (契約金額)

第2条 契約金額は金 円(内消費税及び地方消費税の額 円)とする。

2 前項の消費税及び地方消費税の額は、消費税法(昭和63年法律第108号)第28条第1項及び第29条並びに地方税法(昭和25年法律第226号)第72条の82及び第72条の83の規定に基づき、契約金額に105分の5を乗じて得た額である。

### (履行期限及び納入場所)

第3条 履行期限及び納入場所は次のとおりとする。

履行期限 平成23年12月28日

納入場所 国立水俣病総合研究センター

### (契約保証金)

第4条 甲は、この契約の保証金を免除するものとする。

### (再委任等の禁止)

第5条 乙は、業務の処理を他人に委託し、又は請け負わせてはならない。但し、書面により甲の承諾を得たときはこの限りではない。

### (監督)

第6条 乙は、甲の指示監督により業務を行うものとする。

2 業務の遂行にあたって疑義又は不明の点が生じたときは、甲の指示に従うものとする。

(検査及び引渡し)

第7条 乙は、業務を完了したときは業務終了報告書を作成し、その旨を書面により甲に通知しなければならない。

2 甲は、前項の通知を受けたときは、その日から10日以内に検査を行い、検査に合格した後、乙が成果物の引渡しを申出たときは、直ちにその引渡しを受けなければならない。

3 乙は、前項の検査に合格しないときは直ちに修補して甲の検査を受けなければならない。この場合においては、前項の期間は甲が乙から修補を終了した旨の通知を受けた日から起算する。

(契約金額の支払い)

第8条 乙は、前条第2項の検査に合格したときは、契約金額（この契約の締結後、契約金額の変更があった場合には、変更後の契約金額。以下同じ。）の支払いを請求するものとする。

2 甲は、前項の規定による請求を受けたときは、その日から起算して30日以内（以下「約定期間」という。）に契約金額を支払わなければならない。

(支払遅延利息)

第9条 甲は、第8条の約定期間内に契約金額を乙に支払わない場合は、約定期間満了の日の翌日から支払いをする日までの日数に応じ、契約金額に対し年3.1%の利率を乗じて計算した金額を遅延利息として乙に支払わなければならない。

(仕様書等の変更)

第10条 甲は、必要があると認めるときは、仕様書等の変更内容を乙に通知して、仕様書等を変更することができる。この場合において、甲は、必要があると認められるときは履行期間若しくは契約金額を変更し、又は乙に損害を及ぼしたときは必要な費用を負担しなければならない。

(業務の中止)

第11条 天災地変その他止むを得ない事由により、業務の遂行が困難となったときは、乙は、甲と協議の上契約の解除を行うものとする。

2 前項の規定により契約を解除するときは、第7条から9条までの規定に準じ精算する。

(契約の解除)

第12条 甲は、次の各号の一に該当するときは、この契約の全部又は一部を解除することができる。

- 一 乙の責に帰する事由により、乙がこの契約の全部又は一部を履行する見込みがないと認められるとき。
- 二 乙が第5条、第15条又は第16条の規定に違反したとき。
- 三 乙又はその使用人が甲の行う監督及び検査に際し不正行為を行い、又は監督官等の職務の執行を妨げたとき。
- 四 履行期限内に業務結果の提出がなかったとき。

(違約金)

第13条 甲が前条の規定により契約の全部又は一部を解除した場合は、乙は契約金額の100分の10に相当する金額を甲に支払わなければならない。

(かし担保)

第14条 甲は、第7条の規定により引渡しを受けた後1年以内に隠れたかしを発見したときは、直ちに期限を指定して当該かしを修補させることができるものとする。

(秘密の保全)

第15条 乙は、この契約の履行に際し知得した相手方の秘密を第三者に洩らし又は利用してはならない。

(債権譲渡の禁止)

第16条 乙は、この契約によって生じる権利又は義務の全部若しくは一部を甲の承諾を得た場合を除き第三者に譲渡し、又は承継させてはならない。ただし、信用保証協会及び中小企業信用保険法施行令(昭和25年政令第350号)第1条の2に規定する金融機関に対して売掛債権を譲渡する場合にあっては、この限りではない。

2 前項ただし書に基づいて売掛債権の譲渡を行った場合、甲の対価の支払による弁済の効力は、甲が、支出に関する事務を電子情報処理組織を使用して処理する場合における予算決算及び会計令等の臨時特例に関する政令(昭和55年政令第22号)第5条第1項に基づき、センター支出官に対して支出の決定の通知を行った時点で生ずるものとする。

(紛争又は疑義の解決方法)

第17条 この契約について、甲乙間に紛争又は疑義を生じた場合には、必要に応じて甲乙協議して解決するものとする。



本契約の証として本書2通を作成し、当事者記名押印のうえ、各自1通を保有する。

平成 年 月 日

甲 住 所 熊本県水俣市浜4058-18  
氏 名 支出負担行為担当官  
国立水俣病総合研究センター総務課長 佐藤 克子

乙 住 所  
氏 名

印

平成23年度国立水俣病総合研究センターダイオキシン類等測定業務に係る  
仕様書

## 1. 目的

国立水俣病総合研究センター内の特殊廃液処理棟及び中毒系廃棄物焼却施設についてダイオキシン類作業環境測定等の測定を行うことを目的とする。

## 2. 履行期限

平成23年12月28日まで

## 3. 業務場所

熊本県水俣市浜4058-18

国立水俣病総合研究センター特殊廃液処理棟及び中毒系廃棄物焼却施設

## 4. 対象設備

特殊廃液処理棟、有機系廃液処理装置、希薄系排水処理装置及び中毒系廃棄物焼却施設

## 5. 業務内容

## (1) 特殊廃液処理施設関係

特殊廃液処理棟内ダイオキシン類作業環境測定、有機系廃液処理装置排出ガス・焼却灰・飛灰及び希薄系排水処理装置放流水槽内水のダイオキシン類の測定を行うこと。

また、有機系廃液処理装置排出ガスについては、ばいじん（ダスト）、硫黄酸化物（SO<sub>x</sub>）、窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）、一酸化炭素（CO）、塩化水素（HCL）、酸素（O<sub>2</sub>）、排出ガス量（排出ガスの温度、組成を含む）について連続測定を行うこと。

測定箇所、測定数については以下の①②③のとおりとし、試料の採取及び測定は有機系廃液処理装置の運転時に実施すること。有機系廃液処理装置の運転時期は10月下旬（月～金の5日間程度。処理量に応じ短縮の可能性あり。）を予定している。詳細な日程、試料の採取及び測定の手順については、有機系廃液処理装置の運転管理を実施する業者と打合せのうえ実施すること。

試料の採取及び測定等本業務の実施に必要な資材、機器類は請負者において準備すること。

## ①ダイオキシン類測定

	測定箇所（採取箇所）	測定数	測定方法
1	有機系廃液処理装置排出ガス	1 検体	ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第2条（平成11年12月27日総理府令第67号）
2	有機系廃液処理装置水銀除去装置A排出飛灰	1 検体	特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法（平成4年7月 厚生省告示第192号）
3	有機系廃液処理装置焼却灰	1 検体	特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法（平成4年7月 厚生省告示第192号）

4	希薄系排水処理装置放流水槽内水	1 検体	工業用水・工場排水中のダイオキシン類の測定方法 (JISK0312)
---	-----------------	------	------------------------------------

②有機系廃液処理装置排出ガス濃度測定 (連続測定)

	測定項目	測定数	測定方法
1	ばいじん (ダスト)	1 検体	大気汚染防止法施行規則別表第 2 備考に掲げる方法
2	硫黄酸化物 (SO <sub>x</sub> )	1 検体	大気汚染防止法施行規則別表第 1 備考に掲げる方法
3	窒素酸化物 (NO <sub>x</sub> )	1 検体	大気汚染防止法施行規則別表第 3 の 2 備考に掲げる方法
4	一酸化炭素 (CO)	1 検体	JIS K 0098 排ガス中の一酸化炭素分析方法
5	塩化水素 (HCL)	1 検体	大気汚染防止法施行規則別表第 3 備考に掲げる方法
6	排出ガス量	1 検体	JIS Z 8808 排ガス中のダスト濃度の測定方法
7	酸素 (O <sub>2</sub> )	1 検体	JIS K 0301 排ガス中の酸素分析方法

③ダイオキシン類作業環境測定

	場 所	測定数	測定方法
1	特殊廃液処理棟 1 階 (中 2 階を含み、タンク室除く)	A測定 : 7 B測定 : 1 併行測定 : 1 粉じん : 1 ガス状 : 1	廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱 (平成 13 年 4 月 25 日厚生労働省労働基準局長通達 基発第 401 号の 2) 別紙 1
2	特殊廃液処理棟 2 階 (監視室を除く)	A測定 : 5 併行測定 : 1 粉じん : 1 ガス状 : 1	
3	有機系廃液処理装置焼却灰の灰出し作業時	A測定 : 5 B測定 : 1 併行測定 : 1 粉じん : 1 ガス状 : 1	
4	有機系廃液処理装置飛灰の灰出し・搬出作業時	A測定 : 6 B測定 : 1 併行測定 : 1 粉じん : 1 ガス状 : 1	

(2) 中毒系廃棄物焼却施設

中毒系廃棄物焼却施設内のダイオキシン類作業環境測定、廃棄物焼却炉の排出ガス・焼却灰・飛灰のダイオキシン類の測定を行うこと。

また、廃棄物焼却炉の排出ガスについては、ばいじん（ダスト）、硫黄酸化物（SO<sub>x</sub>）、窒素酸化物（NO<sub>x</sub>）、一酸化炭素（CO）、塩化水素（HCL）、酸素（O<sub>2</sub>）、排出ガス量（排出ガスの温度、組成を含む）について連続測定を行うこと。

測定箇所、測定数については以下の①②③のとおりとし、試料の採取及び測定は中毒系廃棄物焼却施設の運転時に実施すること。中毒系廃棄物焼却施設の運転時期は10月中旬（月～金の5日間程度。処理量に応じ短縮の可能性あり。）を予定している。詳細な日程、試料の採取及び測定の手順については有機系廃液処理装置の運転管理を実施する業者と打合せのうえ実施すること。

試料の採取及び測定等本業務の実施に必要な資材、機器類は請負者において準備すること。

①ダイオキシン類測定

	測定箇所（採取箇所）	測定数	測定方法
1	廃棄物焼却炉排出ガス	1 検体	ダイオキシン類対策特別措置法施行規則第2条（平成11年12月27日総理府令第67号）
2	廃棄物焼却炉排出飛灰	1 検体	特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法（平成4年7月 厚生省告示第192号）
3	廃棄物焼却炉焼却灰	1 検体	特別管理一般廃棄物及び特別管理産業廃棄物に係る基準の検定方法（平成4年7月 厚生省告示第192号）

②排出ガス濃度測定（連続測定）

	測定項目	測定数	測定方法
1	ばいじん（ダスト）	1 検体	JIS Z 8808 排ガス中のダスト濃度の測定方法
2	硫黄酸化物（SO <sub>x</sub> ）	1 検体	JIS K 0103 排ガス中の硫黄酸化物分析方法
3	窒素酸化物（NO <sub>x</sub> ）	1 検体	JIS K 0104 排ガス中の窒素酸化物分析方法
4	一酸化炭素（CO）	1 検体	JIS K 0098 排ガス中の一酸化炭素分析方法
5	塩化水素（HCL）	1 検体	JIS K 0107 排ガス中の塩化水素分析方法
6	排出ガス量	1 検体	JIS Z 8808 排ガス中のダスト濃度の測定方法
7	酸素（O <sub>2</sub> ）	1 検体	JIS K 0301 排ガス中の酸素分析方法

③ダイオキシン類作業環境測定

	場 所	測定数	測定方法
1	中毒系廃棄物焼却施設内	A測定 : 6 B測定 : 1 併行測定 : 1 粉じん : 1 ガス状 : 1	廃棄物焼却施設内作業におけるダイオキシン類ばく露防止対策要綱(平成13年4月25日厚生労働省労働基準局長通達基発第401号の2)別紙1

## 6. 特記事項

- (1) 測定により設備の不具合が発見された場合、請負者は速やかに国立水俣病総合研究センター担当官に報告し、その対応については両者間で協議し決定するものとする。
- (2) 作業中に緊急事態が発生した場合、請負者は速やかに必要な処置を講ずるものとする。
- (3) 業務実施前に現場の状況及び設備などの必要事項を十分確認し、業務実施に際して事故のないように努めること。
- (4) 業務実施に際しては施設の設備等を破損及び汚損しないように行うこと。破損及び汚損した場合には、請負者の責任において原状回復すること。

## 7. 業務報告書

業務報告書には、測定・分析方法、測定・分析結果データを記載した分析結果報告書、計量証明書及び測定状況写真を添付すること。

なお、ダイオキシン類特別措置法第28条の規定、及び同法施行規則第8条に規定される様式第6(別紙1、2を含む)のデータを満たす内容とし、業務報告書とは別に、様式第6に必要事項を記入したものを添付すること。

報告書 2部(A4版)

報告書及びその電子データの仕様及び記載事項は、別添によること。

提出場所 国立水俣病総合研究センター

## 8. 著作権等の扱い

- (1) 成果物に関する著作権、著作隣接権、商標権、商品化権、意匠権及び所有権(以下「著作権等」という。)は、環境省が保有するものとする。
- (2) 成果物に含まれる請負者又は第三者が権利を有する著作物等(以下、「既存著作物」という。)の著作権等は、個々の著作者等に帰属するものとする。
- (3) 納入される成果物に既存著作物等が含まれる場合には、請負者が当該既存著作物の使用に必要な費用の負担及び使用許諾契約等に係る一切の手続を行うものとする。

## 9. 情報セキュリティの確保

請負者は、下記の点に留意して、情報セキュリティを確保するものとする。

- (1) 請負者は、請負業務の開始時に、請負業務に係る情報セキュリティ対策とその実施方法及び管理体制について環境省担当官に書面で提出すること。
- (2) 請負者は、環境省担当官から要機密情報を提供された場合には、当該情報の機密性の格付けに応じて適切に取り扱うための措置を講ずること。  
また、請負業務において請負者が作成する情報については、環境省担当官からの指示に応じて適切に取り扱うこと。
- (3) 請負者は、環境省情報セキュリティポリシーに準拠した情報セキュリティ対策の履行が不十分と見なされるとき又は請負者において請負業務に係る情報セキュリティ事故が発生したときは、必要に応じて環境省担当官の行う情報セキュリティ対策に関する監査を受け入れること。

- (4) 請負者は、環境省担当官から提供された要機密情報が業務終了等により不要になった場合には、確実に返却し又は廃棄すること。
- また、請負業務において請負者が作成した情報についても、環境省担当官からの指示に応じて適切に廃棄すること。
- (5) 情報システムを構築・改良する業務にあつては、請負者は、環境省情報セキュリティポリシーに準拠したシステムを構築すること。
- (6) ホームページの構築・運営等を含む業務（イベント等の周知のためのホームページを含む）にあつては、環境省 Web サーバ（[www.env.go.jp](http://www.env.go.jp)）内での運用を原則とし、利用するアプリケーション等の都合により別途のサーバ環境を利用する場合であっても、ドメイン名は政府機関の属性型ドメインとなる「\*.go.jp」を利用すること。
- (7) 請負者は、請負業務の終了時に、本業務で実施した情報セキュリティ対策を報告すること。

(参考) 環境省情報セキュリティポリシー

<http://www.env.go.jp/other/gyosei-johoka/sec-policy/full.pdf>

#### 10. その他

請負者は、本仕様書に疑義が生じたとき、本仕様書により難い事由が生じたとき、あるいは本仕様書に記載のない細部については、国立水俣病総合研究センター担当官と速やかに協議しその指示に従うこと。

(別添)

### 1. 報告書の仕様及び記載事項

報告書の仕様は、「環境物品等の調達に関する基本方針」(平成23年2月4日閣議決定。以下、「基本方針」という。)の「印刷」の判断の基準を満たすこと。

なお、「資材確認票」(基本方針178頁、表3参照)及び「オフセット印刷の工程における環境配慮チェックリスト」(基本方針179頁、表4参照)を提出するとともに、印刷物にリサイクル適正を表示する必要がある場合は、以下の表示例を参考に、裏表紙に表示すること。

リサイクル適性の表示:印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係る判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料[Aランク]のみを用いて作製しています。

なお、リサイクル適性が上記と異なる場合は環境省担当官と協議の上、基本方針

(<http://www.env.go.jp/policy/hozen/green/g-law/kihonhoushin.html>)を参考に適切な表示を行うこと。

### 2. 電子データの仕様

(1) Microsoft 社 WindowsXP SP3 上で表示可能なものとする。

(2) 使用するアプリケーションソフトについては、以下のとおりとする。

・文章:ワープロソフト Justsystem 社一太郎(2007以下)、又は Microsoft 社 Word (ファイル形式: Word2003以下)

・計算表:表計算ソフト Microsoft 社 Excel (ファイル形式: Excel2003以下)

・画像: BMP 形式又は JPEG 形式

(3) (2)による成果物に加え、「PDF ファイル形式」による成果物を作成すること。

(4) 以上の成果物の格納媒体はコンパクトディスクとする。事業年度及び事業名称等を収納ケース及びコンパクトディスクに必ずラベルにより付記すること。

(5) 文字ポイント等、統一的な事項に関しては環境省担当官の指示に従うこと。

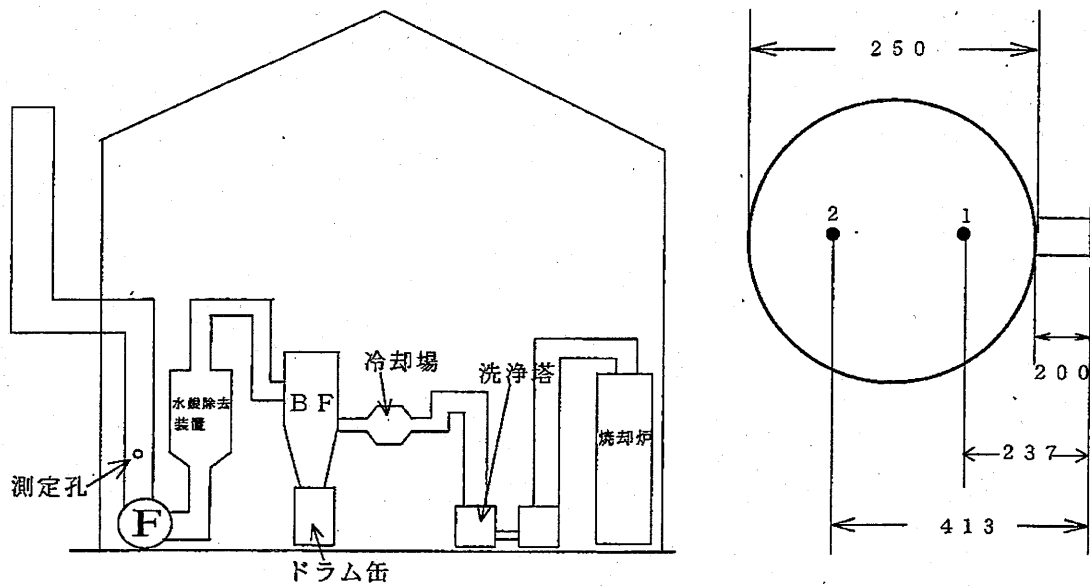
### 3. その他

成果物納入後に請負者側の責めによる不備が発見された場合には、請負者は、無償で速やかに必要な措置を講ずること。

測定施設の概要

事業所等における施設形式		廃棄物焼却炉					
事業所等における施設名称		-					
煤煙発生施設に係る施行規則番号		県条例区分 6					
煤煙発生施設に係る名称		廃棄物焼却炉					
施設情報・規模等	設置年月日	y. m. d	H11. 7. 16	測定箇所条件	煙道形状	丸・角	丸
	バーナーの燃焼能力	L/h	(重油換算値) 11		測定点の口径	D (m)	0.25
	伝熱面積	m <sup>2</sup>	-		測定点の断面積	A (m <sup>2</sup> )	0.0491
	火格子面積	m <sup>2</sup>	0.77		排出口の煙突高さ	Ho (m)	11.50
	発熱量	kcal/kg	-		排出口の口径	D' (m)	0.30
	焼却能力	l/h	10 (L/h) + 10 (kg/h)		排出口の断面積	A' (m <sup>2</sup> )	0.0707
	施設処理物	-	-		煙突の塵傘	有・無	有
	季節変動	有・無	-		測定箇所	屋外・屋内	屋内
	日稼動時間	時間	-		測定点形状	-	フランジ
					測定点内径	(mm)	80
排出基準	煤塵	g/m <sup>3</sup> N	0.50	測定点高さ	(m)	2.2	
	硫黄酸化物	K値	11.5	車両横付け	無・近・遠	遠い	
	HCl	mg/m <sup>3</sup> N	700	作業梯子	無・短・長	無	
				稼動状況	-	連続	
				燃料の種類	-	灯油	
				使用時圧力	kPa	-	
				燃料使用量	m <sup>3</sup> /h	-	

測定位置の略図



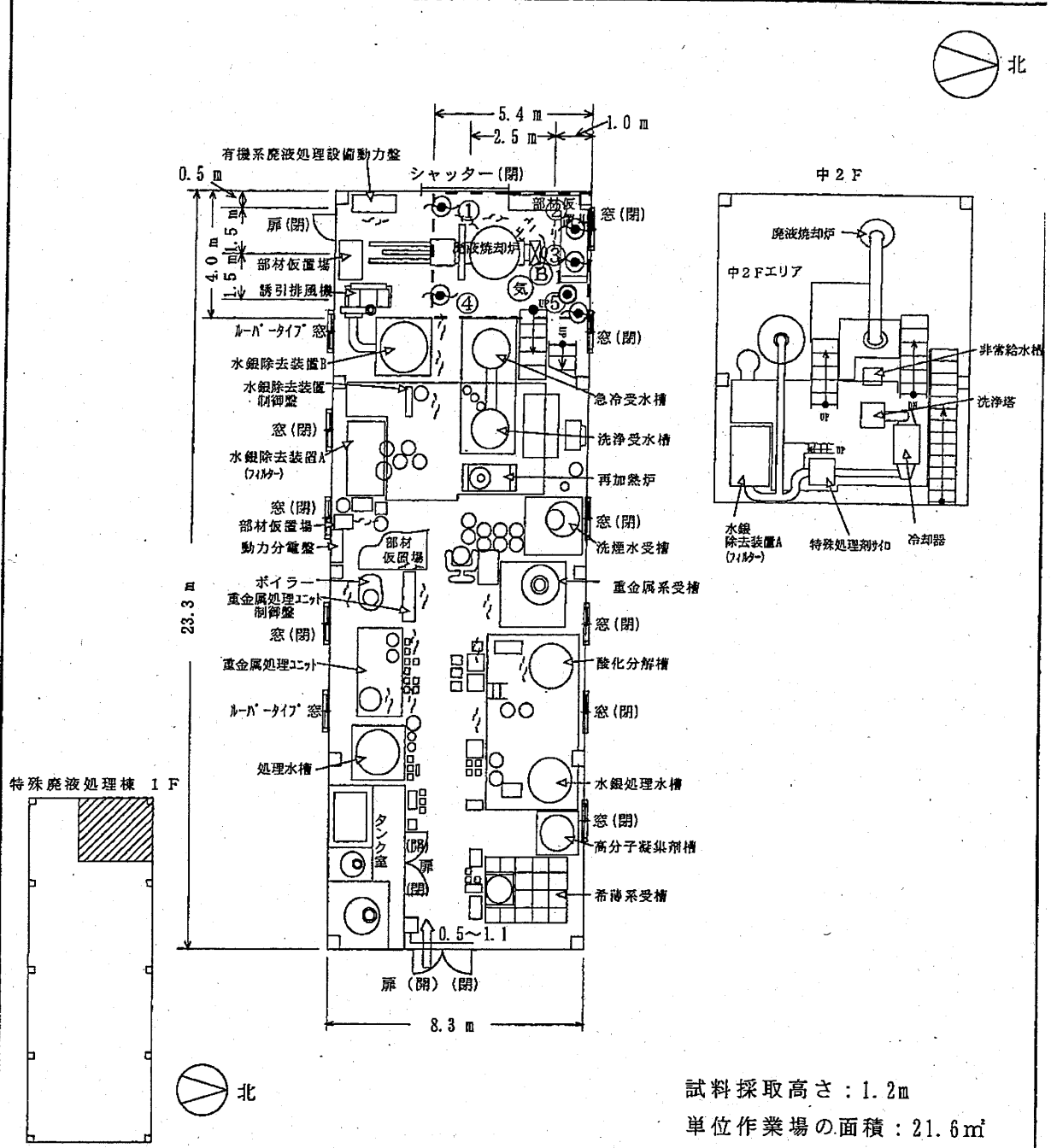
備考

測定施設は、熊本県生活環境の保全等に関する条例の対象設備であり排出基準欄には熊本県生活環境の保全等に関する条例の廃棄物焼却炉設備に係る排出基準を引用しました。



5. 全体図、単位作業場所の範囲、主要な設備、発生源、測定点の配置等を示す図面

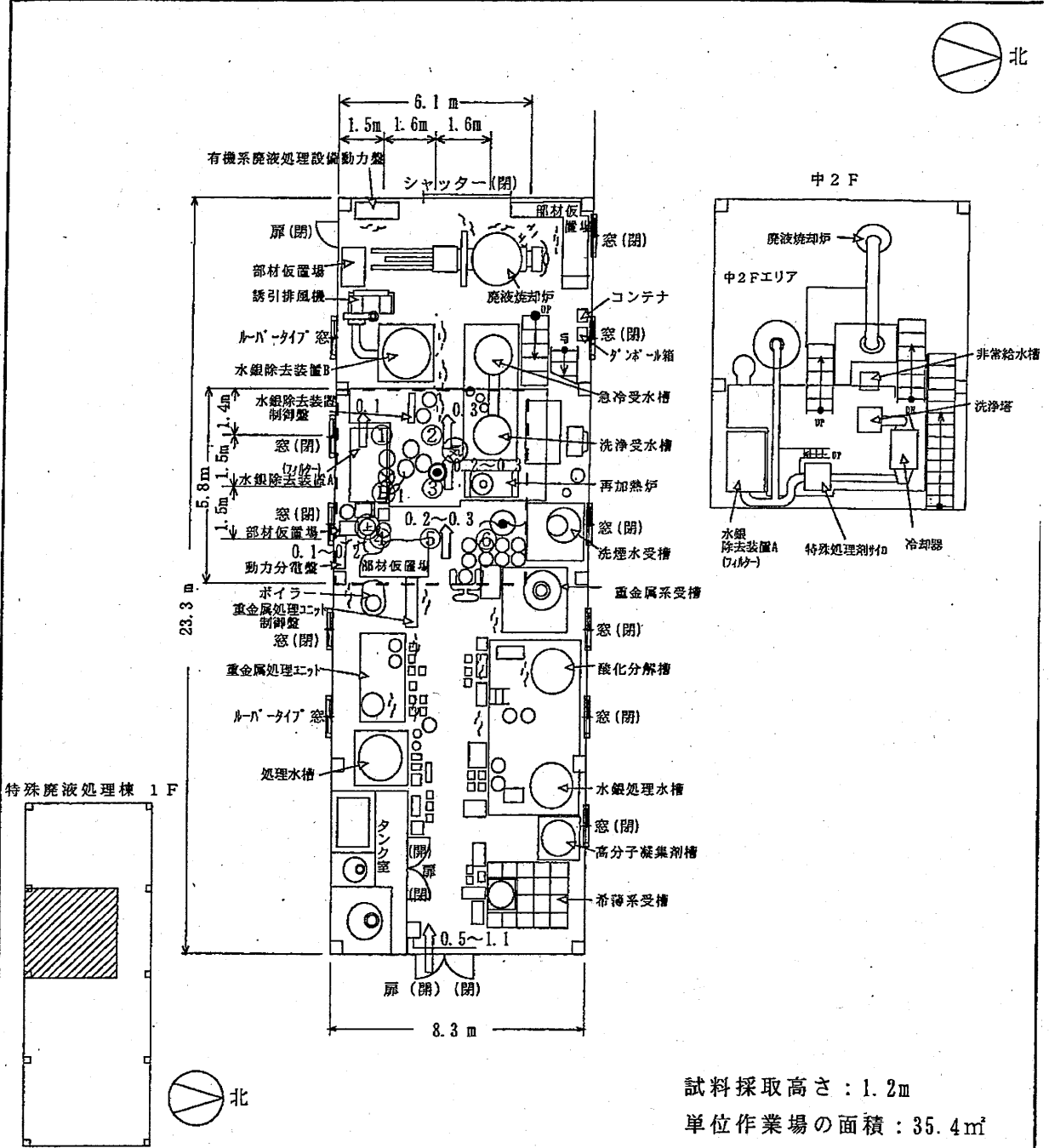
事業場名	国立水俣病総合研究センター
作業場名	特殊廃液処理棟 1Fフロア有機系廃液処理 炉内灰出し作業



- 〔記号〕 ①、②、③…：A測定点    ㊦：B測定点    ●：併行測定点    ⊠：発生源
- ⌆：囲い式フード    ⚠：外付け式フード    ←：気流方向 (m/s)
- ⊙：気流滞留状態    〰：作業者位置    ⋯：作業者移動位置
- ⊕：上昇気流    ⊖：下降気流    ⊗：気流拡散状態    ⊙：気象測定点
- ：単位作業場所の範囲    ◻：換気扇    ⊕：扇風機    ⇄：プッシュプル
- ダイオキシン類、総粉じん    A = 5、B = 1    (6)

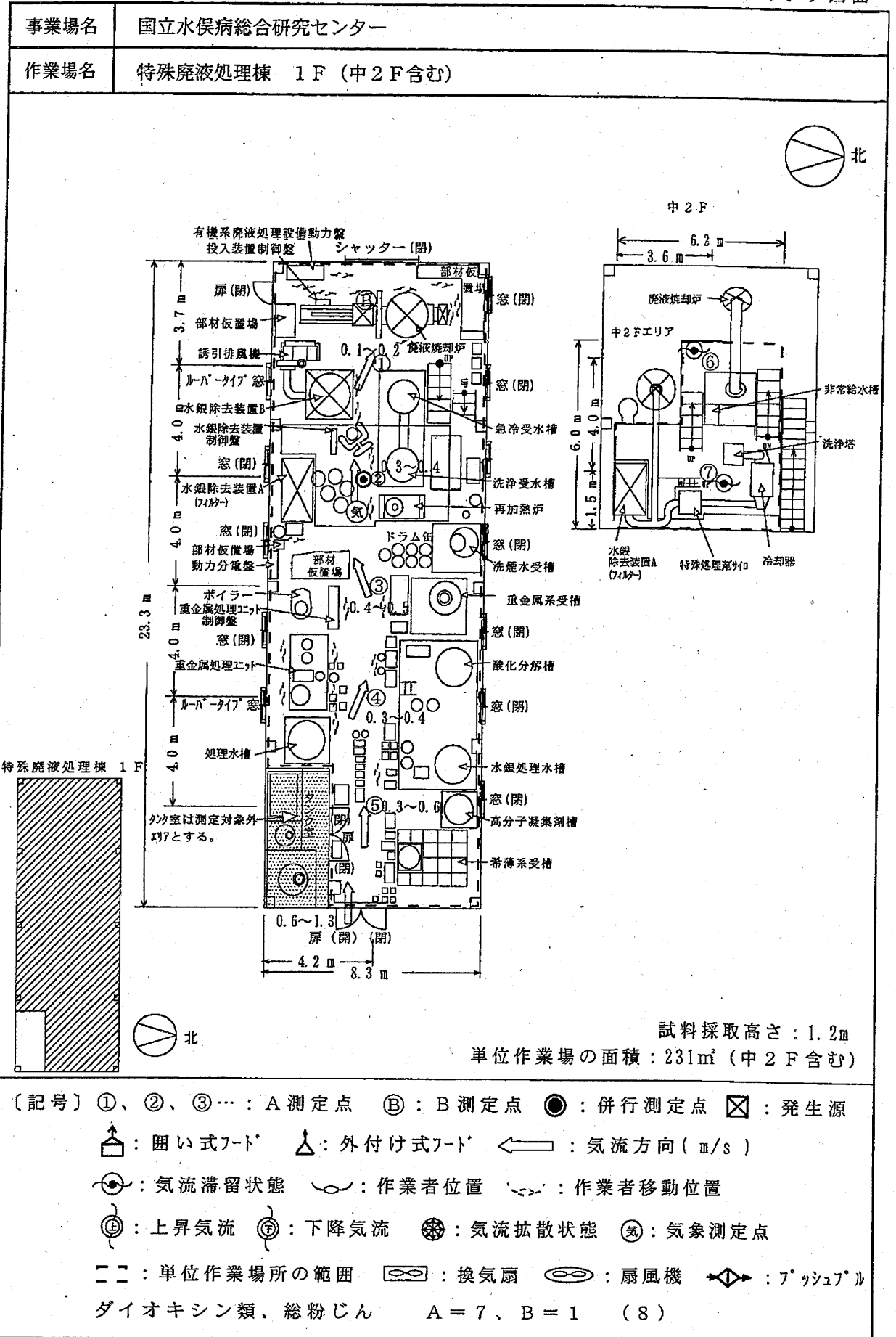
5. 全体図、単位作業場所の範囲、主要な設備、発生源、測定点の配置等を示す図面

事業場名	国立水俣病総合研究センター
作業場名	特殊廃液処理棟 1Fフロア有機系廃液処理 飛灰回収作業

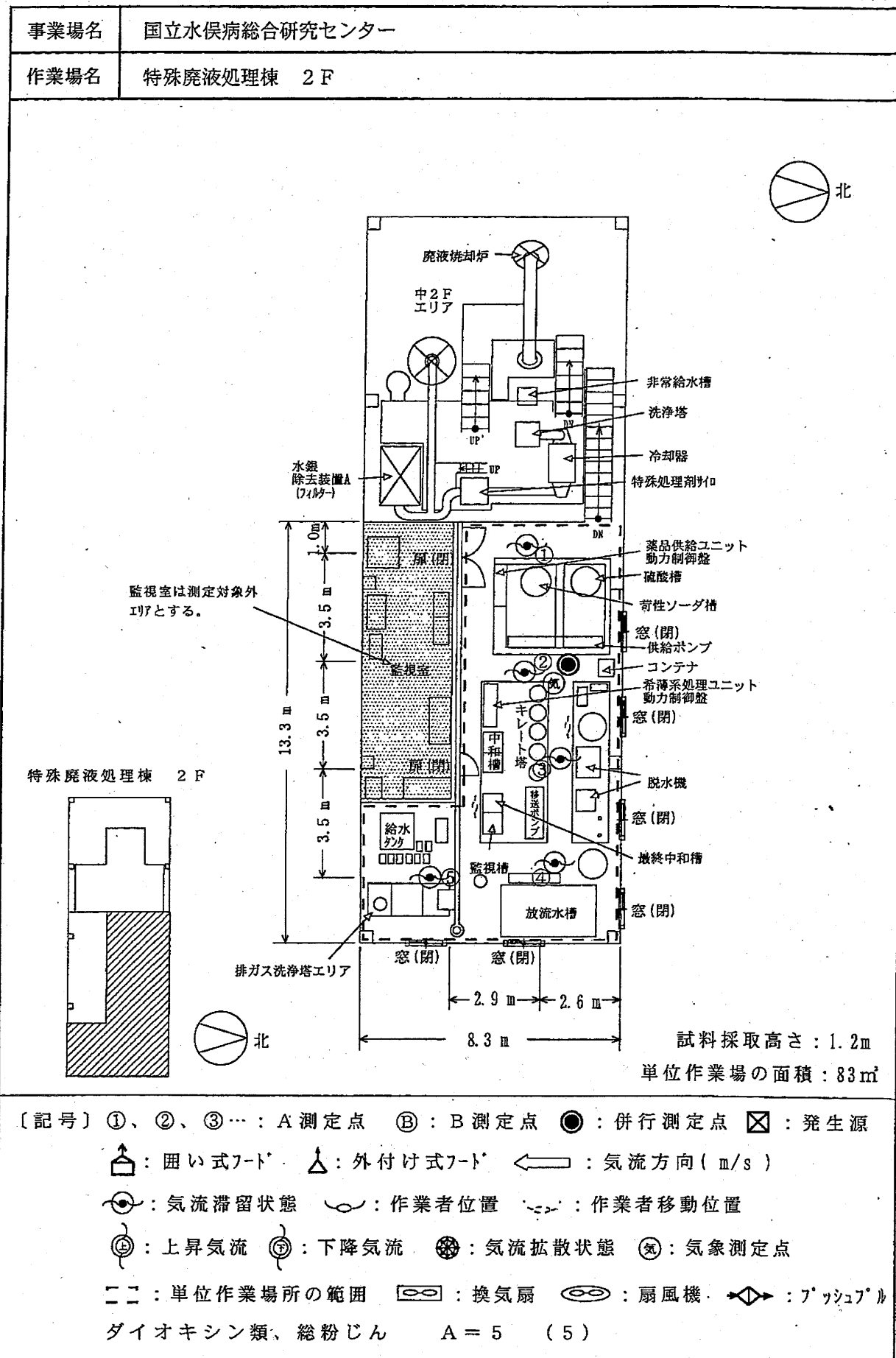


- 〔記号〕 ①、②、③… : A測定点    ⑤ : B測定点    ● : 併行測定点    ☒ : 発生源
- ⬆ : 囲い式フード    ⬆ : 外付け式フード    ← : 気流方向 (m/s)
- ⊙ : 気流滞留状態    ~ : 作業者位置    ~ : 作業者移動位置
- ⊕ : 上昇気流    ⊖ : 下降気流    ⊗ : 気流拡散状態    ⊙ : 気象測定点
- : 単位作業場所の範囲    ◻ : 換気扇    ◻ : 扇風機    ⇄ : フッシュバル
- ダイオキシン類、総粉じん    A = 6、B = 1    (7)

5. 全体図、単位作業場所の範囲、主要な設備、発生源、測定点の配置等を示す図面

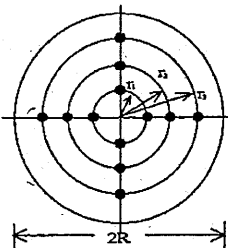


5. 全体図、単位作業場所の範囲、主要な設備、発生源、測定点の配置等を示す図面

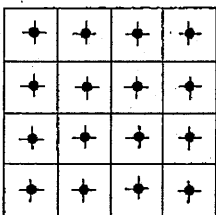


ばい煙発生施設の概要

測定対象事業所名		国立水俣病総合研究センター				
施設名		中毒系実験動物焼却処理装置				
名称及び型式		HWR-30I				
設置年月日		昭和59年3月				
規模仕様	伝熱面積	m <sup>2</sup>	***			
	バーナーの燃焼能力	l/Hr	***			
	火床面積	m <sup>2</sup>	***			
	火格子面積	m <sup>2</sup>	0.588			
	炉の稼動状況	-	***			
	焼却能力	t/Hr	0.01			
	乾燥炉種別	-	***			
燃料	種類	-	灯油			
	通常の使用量	l/Hr	***			
	測定時の使用量	l/Hr	***			
届出	排出ガス量(W)	m <sup>3</sup> N/H	***			
	排出ガス量(D)	m <sup>3</sup> N/H	***			
処理施設						
排気設備	ダクトの寸法	m	0.205	ダクトの断面積	m <sup>2</sup>	0.033
	煙突の頂口の寸法	m	0.205	煙突頂口の断面積	m <sup>2</sup>	0.033
	煙突の高さ	m	8.3			
	傘の有無	-	有			
	測定点数	-	1	測定箇所	-	円形



適用ダクトの直径 2R(m)	半径区分数	測定点の数	測定点のダクト中心からの距離(m)				
			r1	r2	r3	r4	r5
~1	1	4	0.707R	-	-	-	-
1~2	2	8	0.500R	0.866R	-	-	-
2~4	3	12	0.408R	0.707R	0.913R	-	-
4~4.5	4	16	0.354R	0.612R	0.791R	0.935R	-
4.5~	5	20	0.316R	0.548R	0.707R	0.837R	0.949R



適用ダクト断面積A(m <sup>2</sup> )	区分された一辺の長さ l(m)
~1	1 ≤ 0.5
1~4	1 ≤ 0.667
4~20	1 ≤ 1

5 全体図、単位作業場所の範囲、主要な設備、発生源、測定点の配置等を示す図面  
 (5ミリ方眼)

